

平成 22 年 6 月 21 日
子どもねっと会議所
代表 井島 信枝

第 3 回「保護者のためのフィルタリング研究会」 フィルタリングについて保護者の現状と要望

1. 子どもねっと会議所 概要と主な活動内容

【概要】

2007 年 6 月設立。現在会員 46 名。会員は主にネット上で情報交換。
セミナーやマスコミを通じて啓発活動をする市民グループ。
ホームページ URL <http://kodomo-net.com>

【活動実績】一部

- ・ 主に福岡県内の小学校、中学校、高校で保護者や児童生徒を対象とした啓発講演会。
 - ・ 行政職員を対象とした人権研修会。
 - ・ 地域の民生委員、児童相談員、パトロール員を対象とした勉強会。
 - ・ 福岡市長との対話集会で「子どものインターネット利用」をテーマに討議。
 - ・ 新聞、テレビ、ラジオなどで番組、記事協力、出演 ……など。
- 現在までに計 70 講演の実績有り。

【代表経歴】

代表 井島信枝 1964 年生まれ 中 3 男子の母。
本業はWEB 制作とパソコンインストラクター。

【設立の背景と現在の活動】

子ども達のネットトラブルが、学校裏サイトやネットいじめというネーミングで取り沙汰されるようになってきた頃、私のように子育てをしながら IT 関係の仕事をしている仲間内で、「インターネットという素晴らしい通信技術が子ども達の成長の妨げになってはいけない。しかし私達親世代はネットに関する知識経験が不足している。今、起きている事を伝え、安全なネット環境作りを考えて行こう」という声が高まった。

当初から WEB 制作、システム開発、DTP デザイン等、IT に携わる仕事をしているメンバーが多いのが特徴で、常にネット上で最新の情報を共有し合い、対策について考えている。

福岡県では多くの啓発講演会が開催されている。警察、携帯会社、教育委員会の先生等、立場は様々。

私達は今、子育てをしている同じ親目線でこの問題を捉え、「単に携帯を禁止するだけでは解決にはならない」と提唱し、メディアに囲まれて育つ子ども達への接し方を模索している。

2. 真の意味で「保護者のためのフィルタリング」であるには

【保護者のスキルはさまざま】

保護者のネットに関するスキルを3分別してみた。

- ◇ バリバリ活用ママ 注) 父親はパパに置き換えて
 - ・フィルタリングの正しい知識を持ち、自分で設定が行える。
- ◇ ちょい活用ママ
 - ・フィルタリングを漠然と知っている。手助けがあれば活用できる。
- ◇ 機械苦手ママ
 - ・インターネットをほとんど使わない。機械やネットをやみくもに怖がる。お手上げ状態。

【保護者の現状】

- ・ 広報紙作りは全て手作業。
- ・ 連絡ツールは携帯メールまで。携帯メールで伝えられない内容は、FAX か通話、または集まって話す（PCメールを活用する人はかなり少ない）
- ・ ネット上の流行りものを知りたいという気持ちはある（Twitter、mixi、モバゲーなど）。しかし見た事も使ったこともない 今更聞けないと思っている。聞いてバカにされたくない。
- ・ ネットいじめのトラブルには敏感で、我が子が被害者、加害者に成り得る可能性については認識し、大きな不安を抱いている。
- ・ フィルタリングに対して漠然としたイメージしかない。使用法や必要性もわからない。

【時代背景】

Windows95 が発売された頃出産し、子育てに必死で、パソコンを勉強しよう、触ってみようという心と時間の余裕がなかった。

出産前に仕事をしていた頃はオフコン、パーソナルワープロの時代。

社会に取り残されている感を強く持っており、コンプレックスにもなっている。

【フィルタリング普及のためには】

機械苦手ママのスキルアップは親として目指さねばならないところだが、苦手意識はかなり強く、短期間でめぐるものではない。

しかし実際に一番多いのは機械苦手ママの層。この層でも使えるように、サービスをわかりやすく提供できるかどうかのポイントとなる。

3. 現在のフィルタリングの問題点と要望

パソコン編

【問題点】

機械苦手ママは「インストール」という用語を聞いただけで眉をしかめる。
デジタルアーツ社のiフィルターのように、専門用語を使わずにインストールできる「かんたん設定」は導入されやすい。

青少年インターネット環境整備法の改訂でフィルタリングソフトがバンドル出荷されるようになったが、パソコンメーカーによりインストールのスタートが違うので、その時点で理解できず脱落する。

【要望】

- ・フィルタリングソフトの各社共通アイコンを作り、デスクトップに配置する。
- ・パソコン本体にフィルタリングON、OFFボタンをつけ、利用を簡単にする。
(解除は親がパスワード管理で)
- ・エラーや継続利用更新のお知らせが通知領域に出る際、わかりやすいメッセージを表示する。

携帯電話編

【問題点】

- ・ショップで正しい説明を受けられない。
- ・ショップ店員さんのフィルタリングに関する知識にバラつきが見られるし、実際にフィルタリングのかかった実機を使ったことがないので、突き詰めて聞くと、想像の範囲での回答が返ってくる。
- ・フィルタリングコースの名称が各社違うので混乱する。

【要望】

- ・フィルタリング各コースを設定した実機を置いておくべき。
- ・各社共通のフィルタリングの名称をつける。
例) フィルタリング(強)(中)(弱) カスタマイズコース。

ゲーム機編

【問題点】

- ・ゲーム機からインターネットにつなげる事を親が知らない。

【要望】

- ・インターネット接続可能な機器だと言うこと、ペアレンタルコントロール機能やフィルタリングが使えるということが一目見てわかるように、本体パッケージに記載すべき。(現在任天堂商品はパッケージ側面に小さく記載、SONY製品は記載無し)
- ・本体パッケージに「保護者のためのフィルタリングガイドブック」を添付して売る。
- ・テレビCMなどでの啓発。